

アンケート調査

平成26年10月7日

1. 目的

減災対策では、自治会や防災福祉コミュニティ等の住民主体の組織が、防災活動において重要な役割を果たす。これらの活動は、各地区における水害実績、浸水想定等の水害リスクによって異なることが考えられる。そのため、減災対策の検討では、各地区における防災活動の現状や課題を抽出し、そこから各地区に応じた実効性の高い減災対策を提示していくことが必要となる。

本アンケート調査の目的は、神明地域の消防団、自治会、防災福祉コミュニティを対象として、過去の水害実績、水害に対する備え等を把握することによって、①予防、②事前、③直前、④直後の各ステージでの課題を整理し、減災対策を検討することである。

2. 対象

アンケート調査の対象者は、以下の通りである。

- ・神戸市：消防団、防災福祉コミュニティ
- ・明石市：消防団関係、自治会

3. 実施時期

平成 26 年 9 月下旬から 10 月下旬

平成 26 年 9 月

関係各位

兵庫県東播磨県民局 加古川土木事務所

「神明地域総合治水推進計画」における アンケート調査のお願い（依頼）

平素は県の土木事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当事務所におきましては、兵庫県の総合治水条例（平成 24 年 4 月 1 日施行）に基づき、明石市及び神戸市西部の「神明地域総合治水推進計画」の策定を進めています。

本計画では、「ながす：河川下水道対策」「ためる：雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる流域対策」「そなえる：浸水した場合の被害を軽減する減災対策」を 3 本の柱とし、これらを組み合わせた「総合治水」を推進し、流域住民の安全と安心の確保をより向上させることを目標としています。

そこで「そなえる」対策として、貴団体の減災に関わる取り組みについて調査し、計画に反映させようと考えています。つきましては、以降に示しますアンケート調査にご協力頂けますよう、よろしくお願ひいたします。

【お願い】

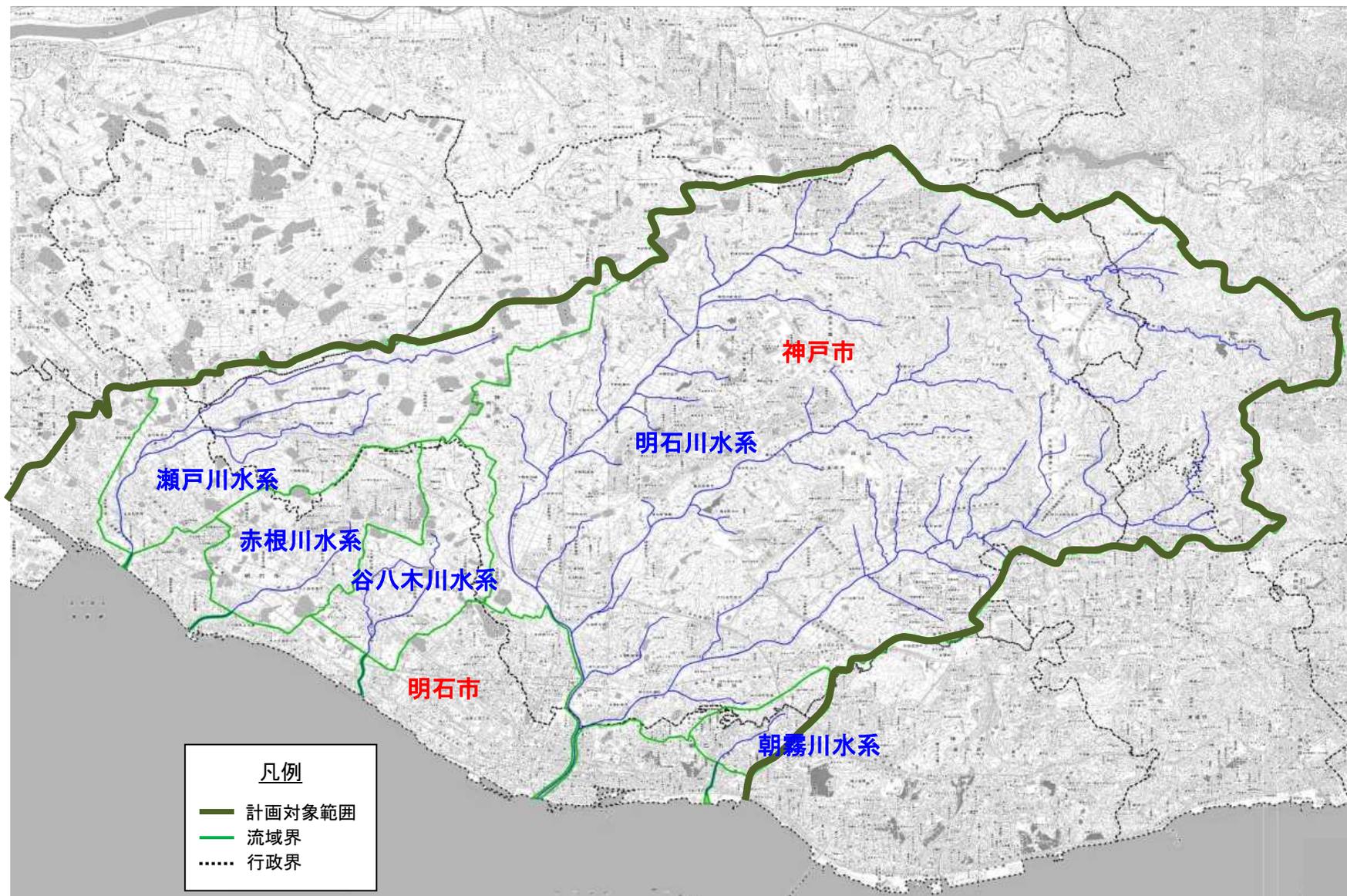
- ・総合治水の内容につきましては、同封しております「知っとこ！総合治水」のリーフレットをご参考にしてください。また、下記ホームページに総合治水に関する情報を掲載しております。
URL <http://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/sougouchisui-jyorei.html>
- ・アンケートを同封しております**回答用紙**にご回答いただき、**回答用紙のみ**を、同封の返信用封筒に入れて、**平成 26 年●月●日（●）**までにご投函頂きますようお願い致します。
- ・このアンケート調査は、兵庫県東播磨県民局 加古川土木事務所の委託を受け、株式会社建設技術研究所が実施しております。

【提出先】

〒541-0045 大阪市中央区道修町 1 丁目 6-7
(株)建設技術研究所 大阪本社
水システム部 田中、大矢
TEL：06-6206-5797 FAX：06-6206-6046

【お問合せ先】

〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木 97-1
加古川土木事務所 企画調整担当 木本、齊藤
TEL：079-421-9183 FAX：079-421-0072



対象地域と対象水系

減災対策アンケート調査票

1. 地域の状況について

問1 貴団体のある地域の身近な地形についてあてはまるものすべてに○をしてください。

1. 大きな川が近くにある
2. 天井川が近くにある(川底が地盤より高い)
3. 地滑り地が近くにある
4. 崖地が近くにある
5. よく浸水する場所がある
6. 近くに断層がある
7. 該当するものはない

問2 貴団体では防災用の資機材の整備や、非常時のための備蓄をされていますか。整備、備蓄されているものにすべて○をしてください。

1. 資材保管庫
2. 土のう袋
3. スコップ
4. のこぎり
5. ナタ・鎌
6. 掛矢・たこ槌
7. ハンマー
8. 木杭
9. ロープ
10. 船・ゴムボート
11. ジャッキ
12. ハンドマイク
13. 消火器
14. バケツ
15. 断水時の水源
16. ブルーシート
17. 毛布
18. 食料
19. 飲料水
20. その他()
21. 準備や備蓄はしていない

問3 貴団体の防災力を高めるためには、何が一番必要だと考えますか。ひとつ○をしてください。

1. 住民の意識向上
2. リーダーの育成
3. 行政による指導、助言
4. 資機材の整備
5. 住民間のコミュニケーション向上
6. 行政による財政支援
7. 地域の事業所や商店との連携
8. 他の団体との連携
9. 防災専門家との連携
10. その他()

2. 被災履歴について

問 4 貴団体のある地域は、過去に自然災害により被害を受けたことがありますか。

いくつでも○をしてください。

1. 水害により被害を受けたことがある
2. 土砂災害により被害を受けたことがある
3. 地震により被害を受けたことがある
4. 大きな被害を受けたことがない（聞いたことがない）

問 5 貴団体の地域での被災体験・履歴について記入をお願いします。

3. 水害に対する地域防災力について

問6 貴団体の防災活動では、どのような人または組織が主導的な役割を果たしていますか。あてはまる人や組織をすべてに ○をしてください。

1. 貴団体の会長
2. 貴団体の防災担当の役員
3. 民間事業所や企業組合・団体の人
4. 災害ボランティアの人
5. その他()
6. 主導的な役割を果たしている人や組織はない

問7 貴団体は、防災面で何か困ったことがあったときなど、消防署と、いつも連絡をとりあっていますか。ひとつ ○をしてください。

1. いつもよく連絡をとりあっている
2. よく連絡をとりあっている
3. あまり連絡をとりあっていない
4. ほとんど連絡をとりあっていない

問8 貴団体は、防災面にかかわらず、何か困ったことがあったときなど、市や区役所とふだんから連絡をとりあっていますか。ひとつ ○をしてください。

1. いつもよく連絡をとりあっている
2. よく連絡をとりあっている
3. あまり連絡をとりあっていない
4. ほとんど連絡をとりあっていない

問9 貴団体における河川の堤防決壊などの洪水による浸水発生の可能性がわかる「(河川)洪水ハザードマップ」(「災害ハザードマップ」「浸水実績図」などの名称の場合もあります)を、ご覧になりましたか。ひとつ ○をしてください。

1. 細かいところまで詳しく見た
2. ざっと大まかだけ見た
3. 少しは見た
4. そのような地図は見たことがない
5. そのような地図はない

問 10 今後5年のうちに、貴団体で、床上浸水のような大きな浸水被害が発生する危険性はどの程度あると思いますか。ひとつ ○をしてください。

1. かなり危険性が高い
2. やや危険性が高い
3. 危険性は低い
4. 危険性はまったくない
5. わからない

問 11 貴団体では、この2～3年間に、次にあげるような水害についての対策を自主的に実施していますか。自主的に実施したものをいくつでも 選んで、○をしてください。

1. 水害がおきたときの対策を話し合った
2. 防災座談会・懇談会などを自主的に実施した
3. ふだんから地区内の危険と思われる所を巡回し、点検している
4. ふだんから雨や風の気象情報や、川の水位などの情報に注意している
5. 水害から身を守るため、地区内・外で、避難場所となる高いところを探した
6. 高い建物をもつ企業や事業所・個人宅に、水害時の避難者受け入れを頼んだ
7. 水害がおきる危険が迫ったときの避難誘導體制を整えた
8. 介護が必要な体の弱い人や高齢者の避難誘導體制を整えた
9. 防災資機材の整備・点検を定期的に行っている
10. 食料などの備蓄や確保を行った
11. 独自の防災マップを作った（あるいは現在作成中）
12. その他（)
13. 以上のようなことはひとつもしていない

問 12 貴団体の住民のなかで、問 11 にあげたような、水害から自分たちの生命や財産を守るために何らかの対策を実施している人は、どのくらいいると思いますか。ひとつ○をしてください。

1. ほとんど全員が何らかの備えをしている
2. かなりの人が備えをしている
3. 約半数の人は備えをしている
4. 何らかの備えをしている人は半数に満たない
5. 備えをしている人はほとんどいない
6. わからない

問 13 貴団体では、次にあげるような水害に備えるための訓練（水防訓練）のうち、どれを実施していますか。国・県・市区主催の訓練への参加ないしは貴団体主催で実施している訓練を、すべてに○をしてください。

1. 情報伝達機器を操作する訓練
2. 河川や被害情報などの収集・分析訓練
3. 高い建物や避難場所に住民が避難する訓練
4. 住民による土のう作り
5. 浸水地区に取り残された住民を救助する訓練
6. ボートを使って人や物資などを搬送する訓練
7. 避難所での避難生活を想定した訓練
8. 炊き出し訓練
9. 応急救護訓練
10. 身体の弱い人やお年寄りを介護する訓練
11. 水害を想定した机上訓練や図上演習
12. その他()
13. 以上のようなことは、ひとつもしていない

問 14 最近行った水害に備えるための訓練（水防訓練）には、地区住民のうち、どれくらいの方が参加しましたか。国・県・市区、貴団体主催の訓練のいずれでも構いません。ひとつ○をしてください。

1. ほとんど全員が参加している
2. かなりの人が参加している
3. 約半分の人が参加している
4. 住民の参加者は半分に満たない
5. 参加者はほとんど役員だけ
6. 水防訓練は実施していない

問 15 長雨が続きたり、雨が強まったりして水害の危険が高まったとき、貴団体ではどのようなことをしますか。これまでの経験から、あてはまるものをいくつでも○をしてください。

1. 水害の危険がある地区や溪流、川、堤防、下水溝・管などを見回る
2. 気象情報に注意を払う
3. 市・区役所と連絡を取りあう
4. 役員同士で連絡を取りあう
5. 消防署に警戒するよう依頼し、連絡を取りあう
6. 危険だと判断すると、自主的に役員等が参集する
7. 上流や下流にあたる地区の雨量や川の水位の情報を集める
8. 危険があるところに、土のうを積んだり、補修などをする
9. 大切な物を高いところに移動する
10. 浸水が発生する可能性がある地区の住民の安否確認や、注意の呼びかけをする
11. 身体の弱い人や高齢者に注意を呼びかけたり、場合によっては避難誘導する
12. その他()
13. 以上のようなことは、まったくしていない

問 16 水害の発生が高まってから次の行動をとろうとする際の「判断基準」を貴団体では、お持ちですか。ひとつ○をしてください。

1. 団体独自で「判断基準」を決めている
2. 団体独自の「判断基準」はなく、別団体からの判断情報を用いて、その指示に従う
3. 団体独自の「判断基準」はなく、その場の状況で判断する
4. その他()

問 17 水害の発生が高まってから次の行動をとろうとする際の行動を示す「行動マニュアル」を貴団体では、お持ちですか。ひとつ○をしてください。

1. 団体独自で「行動マニュアル」を作成している
2. 団体独自の「行動マニュアル」はなく、別団体からの情報を用いて、その指示された行動をとる。
3. 団体独自の「行動マニュアル」はなく、その場の状況で行動をとる
4. その他()

問 18 もしも、あなたまたは貴団体の役員などが、洪水による浸水が発生する可能性が大きくなったと判断したとき、その情報をどこへ伝えますか。あてはまるものをいくつでも○をしてください。

1. 市・区役所など
2. 消防署など
3. 地区内にある病院や福祉施設など
4. 国や県の機関など
5. 地区内の人たち
6. その他()
7. 何もしないと思う

問 19 洪水による浸水の危険がある地区内に住んでいる人に、緊急に一斉に情報を知らせるための手段として、何を使うことになっていますか。使うと思われるものをすべてに○をしてください。

1. 市の防災無線の戸別受信機
2. 市の防災無線の屋外放送
3. 有線放送
4. 有線放送電話（オフトーク通信）
5. 貴団体が直接言って回る
6. 貴団体の電話連絡網で伝える
7. 市の職員等の行政の人が直接言って回る
8. サイレン・半鐘
9. 市や消防署の広報車
10. テレビ・ラジオ
11. ひょうご防災ネット（防災ネットあかし、神戸市（安全・安心情報）等）
12. その他()

問 20 もしも洪水による浸水が発生する危険が大きくなった場合、貴団体は、自主的に洪水による浸水の危険がある地区の人に避難を呼びかけますか。ひとつ○をしてください。

1. 必ず避難を呼びかけるだろう
2. たぶん、避難を呼びかけることになるだろう
3. たぶん、避難の呼びかけはできないだろう
4. 避難の呼びかけはまったくできないだろう

問 21 水害の危険が高まり避難することになったとき、安全な道を通って、安全な避難場所に行くことはできますか。ひとつ〇をしてください。

1. 安全で歩きやすい道がある
2. 途中で危険な所や歩きにくい道がある
3. 安全で歩きやすい道はあまりない
4. 安全で歩きやすい道はほとんどない

問 22 貴団体が、自主的に洪水による浸水の危険がある地区の人に避難を呼びかけた場合、どのくらいの人が避難に応じてくれると思いますか。ひとつ〇をしてください。

1. ほとんど全員が避難してくれるだろう
2. かなりの人が避難してくれるだろう
3. 半分くらいは避難してくれるだろう
4. 避難する人は少ないだろう
5. ほとんどの人が避難してくれないだろう
6. その他()

問 23 貴団体のある地域が、万一水害で水浸しになってしまった場合、貴団体では、どのような活動をすると思いますか。水害が発生してから3日目くらいまでに活動すると思われることを、いくつでも〇をしてください。

1. 行方不明者を捜索する
2. 居住者の安否を確認して回る
3. 身体の弱い人や高齢者などの安否の確認や介護をする
4. 浸水した地域に取り残された人々をボートなどで救出する
5. 浸水した地域に取り残された人々に食料などを配給する
6. 被災した人に避難所で救援活動をする
7. 温かい食べ物などの炊き出しをする
8. 避難所の運営をする
9. がれきを処理したり、浸水地区の掃除や後片づけをする
10. 被災した人へのお見舞い金を集める
11. その他()
12. 何もしないと思う

